Lions Clubs International

シド・スクラッグス国際会長より
ライオン指導者へのメッセージ

ライオン様

平松邦夫大阪市長と世界視力デーをともにすごしたのは大変光栄なことでした。 第12回世界視力デーでは、ライオンズは指導的な役割を務めました。私は日本の大阪市で、平松市長とともに大阪市の動物園に目の不自由な人々のための新しい設備の寄贈に参加したほか、大阪市にある目の不自由な方々のための総合福祉施設、日本ライトハウスでの活動に参加いたしました。

第2番目のグローバル奉仕実施キャンペーンは、「世界視力デー」への参加を中心にその時期に合わせ設定されましたが、世界中のライオンズの皆さんには、10月中を通じて、われわれライオンズにとっても最も古く、重要な奉仕事業である視力事業に力を注いでいただきたいと思います。もし皆さんのクラブや地区がまだ今月視力事業に参加されていないようであれば、まだ中古眼鏡の回収や、視力検査の企画、目の不自由な方がコミュニティ活動に参加する際のボランティアなど、まだ参加の機会はあるはずです。 詳しくは、視力奉仕事業のための20のアイディアをご覧ください。

ライオンズクラブ国際協会にとって、10月はいつもとても活動的な時期です。 伝統的に、10月には会員増強プログラムに力が注がれており、今年ももちろん同じです。 実際のところ、10月の奉仕事業推進と会員増強とは揃って推進されるものです。 楽しく、注目を集めて、かつ効果的なクラブの奉仕事業ほど、ライオンズクラブにとって会員増強につながる武器はありません。 成功への公式は極めてシンプルです。より多くのより良い奉仕事業は、より多くの満ち足りた、誇りに満ちたライオンズを意味します。

次の、各クラブが参加できる注目度の高い世界規模の奉仕事業は12月に予定されています。この第3のグローバル奉仕実施キャンペーンについて何ができるか、全力で学んでいただきたいと思います。食料支援をしよう この、人間にとって最も基本となる欲求を満たすための重要なキャンペーンに参加し、希望の光を人々にもたらし続けましょう！

ご尽力に、心より感謝申し上げます。

草々
シド L. スクラッグスIII世
国際会長